

あかるく 元気に
すすんで 学 び
みんなと 仲良く



地域と共に 生きる はぐくむ 育ち合う

福島県立富岡支援学校

Tomiooka Special Support School

Webサイト <https://tomiooka-sh.fcs.ed.jp>

Facebook <https://www.facebook.com/tomioka.yougo/>

児童生徒が持てる力を最大限に発揮できる学校を目指して

私たちは、特別支援教育の基本理念である「地域で共に学び、共に生きる」教育を関係機関と推進し、地域に貢献できる学校づくりに取り組んでいきます。

- 1 指導力、授業力の向上を図り、児童生徒一人一人の自立と社会参加に向けて「分かる・できる・考える」ための教育実践に取り組んでいきます。
- 2 双葉、いわき両地域において就学前から卒業後までの切れ目のない支援体制の構築を図り、交流及び共同学習等をとおして地域社会の一員として共に生きる力の育成に取り組んでいきます。
- 3 教職員の不祥事等の未然防止に努め、活力ある学校づくりに取り組んでいきます。

校長 西牧 辰典

教育目標

一人一人の特性に応じ、社会の一員としてたくましく生きる力と豊かな心を身に付けた児童生徒を育てる。

重点目標1

「分かる」「できる」「考える」

「分かる」「できる」「考える」授業を実践して考えて行動する力を育みます。個別の指導計画に基づく授業計画の作成、指導の「振り返り」を行い、児童生徒一人一人の学びを確実に育てます。

重点目標2

「共に生きる」

小学部と中・高等部の校舎が離れていても一つの学校として、児童生徒同士の触れ合いや交流及び共同学習、様々な体験学習を通し、相手を思いやる態度やできる自信を高め、集団の中で自己表現できる力、地域社会の一員として共に生きる力を育てます。

重点目標3

「つながる」「支える」

児童生徒の進路実現に向け、地域の関係機関との連携を積極的に進めます。また、地域支援センターを中心に、地域のニーズに応じた就学前から学齢期、社会参加までの切れ目のない支援を行います。

- 1 児童生徒の発達段階に応じてICT機器や情報通信ネットワーク等を効果的に活用するとともに思考・判断する力を育む授業の実現に努める。
- 2 個別の指導計画に基づく授業計画・実践・評価のPDCAサイクルを通して、主体的・対話的で深い学びの実現に向け、日々の授業改善を進める。
- 3 日々の授業や各種行事の振り返りや授業研究会等同僚同士が日常的に学び合う機会を積極的に設定し専門性の継承やさらなる向上に努める。

- 1 学校行事や全校での集会活動等において、児童生徒同士が触れ合う活動を通し、相手を「受け容れる」、「思いやる」態度を育てる。
- 2 小・中学校や高等学校との交流及び共同学習を通し、集団の中で生き生きと活動し、それぞれの発達段階に応じて自分の気持ちや考えを表現できる力を育てる。
- 3 地域の人材交流や体験活動、産業現場等における実習等を積み重ねることで、集団の中で「できる」自信を高めていくとともに、地域社会の一員として共に生きる力を育てる。

- 1 教育相談や保健福祉との連携を通じて、本人・保護者のニーズを探るとともに、保護者のより良い子育てにつながるよう支援する。
- 2 児童生徒自らが選択した進路に結び付けられるよう、目標を明確にするとともに、双葉・いわき両地域の就労支援機関との丁寧な情報交換・共有をさらに進め、児童生徒一人一人の進路実現に努める。
- 3 双葉・いわき両地域の学校等のニーズに応じて、保健・福祉・教育機関等との連携を図りながら「相談支援」及び「研修支援」等、地域支援センターとしての適切な役割を果たすよう努める。